

「中小企業者等に対する受注機会の確保に関する推進方針」の一部改正と 平成28年度中小企業者向け契約目標の設定について

平成28年3月
経済部地域経済局中小企業課

■ 推進方針の目的

道は、平成15年11月に「中小企業者等に対する受注機会の確保に関する推進方針」（以下「推進方針」という。）を定め、物品等の発注に係る契約の締結に当たり、予算の適正な使用に留意するとともに、法令等との整合性を確保しつつ、中小企業者等を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、中小企業者等の育成が地域経済の発展に寄与することに配慮しながら、中小企業者等の受注機会の確保・拡大に努めることとしている。

■ 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のための主な措置

○中小企業者等向け契約目標（下記2参照）

	物 品	工 事	役 務	計
平成28年度目標値	72.0	92.8	77.7	89.9

※目標値は、年度当初の段階で決定し、年度途中で前年度実績が確定した段階で必要に応じて修正

- 指名競争における対応 ～指名実績のない道内中小企業者の選定 など
- 一般競争における対応 ～道内に本店を有することなど事業所の所在地に関する地域要件を設定
- 随意契約における対応 ～見積書は地元業者・中小企業者を選定
- 分離・分割発注の推進 ○適正価格による発注に関する配慮
- 中小建設業者に対する配慮 ○官公需適格組合等に対する配慮 等

1 推進方針の一部改正について

◎「道が表彰・認定した商品等への配慮」の追加及び雇用情勢に鑑みた記述内容の改正

道は、環境負荷の低減に資する製品に関して「リサイクル製品認定制度」を定め、認定を受けた商品について利用を促進しているところ、当該認定を受けた企業の販路拡大等の一助とするため、「リサイクル製品認定制度」の認定を受けた商品を道が表彰・認定した商品等への配慮についての規定に追加することとする。（推進方針4-(15)-(イ)）

また、本道においては、平成28年1月の有効求人倍率が0.99倍となり、有効求人数も72ヶ月連続で前年同月を上回るなど、雇用情勢が引き続き改善していることから、本年3月に策定予定の「第4期北海道雇用創出基本計画」における「道民が安心して働ける環境づくり」などの記載を踏まえ、関係する記述を改めることとする。（推進方針4-(17)）

改正後	現 行
<p>4 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のための措置 (中略)</p> <p>(15) 道が表彰・認定した商品等への配慮 (ア) (略)</p> <p>(イ) 道が実施する「リサイクル製品認定制度」の認定を受けた商品の販路拡大等を図るため、物品等の発注に当たっては、当該認定を受け、その有効期間内にある中小企業者等に対する受注機会の確保・拡大に努めるものとする。</p> <p>(16) (略)</p> <p>(17) 雇用確保に関する働きかけ 物品等の発注に当たっては、受注する中小企業者等に対し、道民が安心して働けるように、雇用の維持確保に努めるよう働きかけるものとする。 特に、工事の発注に当たっては、受注する中小企業者等に対し、通年雇用化等の取組を理解し季節労働者及び離職者の積極的な雇用を努めるよう文書等で働きかけるものとする。</p>	<p>4 中小企業者等の受注機会の確保・拡大のための措置 (中略)</p> <p>(15) 道が表彰・認定した商品等への配慮 (ア) (略)</p> <p>(イ) (新設)</p> <p>(16) (略)</p> <p>(17) 雇用確保に関する働きかけ 物品等の発注に当たっては、受注する中小企業者等に対し、<u>厳しい雇用情勢に鑑み、雇用の維持確保に努めるよう働きかけるものとする。</u> 特に、工事の発注に当たっては、受注する中小企業者等に対し、通年雇用化等の取組を理解し季節労働者及び離職者の積極的な雇用を努めるよう文書等で働きかけるものとする。</p>

2 平成28年度中小企業者等向け契約目標について

(1) 平成27年度上期実績と分析

ア 平成27年度上期実績

(単位：金額ベース%)

	物品	工事	役務	合計
目標値	72.0	92.8	77.7	89.9
実績値	60.8	94.1	80.8	89.4

イ 要因

- ・「物品」～除雪車の更新、医薬品、建設機械など比較的高額な物品の購入において、道内中小企業以外の者が落札したことなどにより、目標値を下回る。
- ・「工事」～病院の改築や河川改修工事など比較的高額な工事において、地域要件を設定した入札などの結果、道内中小企業が落札したことなどにより、目標値を上回る。
- ・「役務」～情報処理システム管理や工業用水道管理の委託など比較的高額な業務委託において、道内中小企業が落札したことなどにより、目標値を上回る。

(2) 平成28年度契約目標値設定の考え方

平成27年度上期実績と過去の傾向値を勘案して通期を予測し、平成28年度の目標値を設定。

(単位：金額ベース%)

	H27上期	傾向値 (過去5年7傾向)	H27通期予想	H27目標値	H28目標値
物品	60.8	+ 3.4	64.2	72.0	72.0
工事	94.1	- 1.2	92.9	92.8	92.8
役務	80.8	- 0.4	80.4	77.7	77.7
計	89.4			89.9	89.9

※傾向値～通期実績値と上期実績値の差の5年平均

- (1)「物品」：下期は契約割合が高くなる傾向にあるものの、H27通期予想が現在の目標値を下回ることから、H28目標値は据え置きとする。
- (2)「工事」：下期は契約割合が下がる傾向にあり、H27通期予想が現在の目標値とほぼ同程度であることから、H28目標値は据え置きとする。
- (3)「役務」：下期は契約割合が下がる傾向にある中、H27通期予想が現在の目標値を上回るが、平成H27においてはプレミアム商品券発行の委託業務を道内中小企業が一者随契で受託するなど特殊要因があったことから、H28目標値は据え置きとする。

(3) 目標値及び実績値の推移

[北海道]

(単位：金額ベース%)

区分	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27上期	
目標値	物品	69.2	→			72.0	→						
	工事	91.3	→			92.8	→						
	役務	77.7	→			77.7	→						
	合計	89.0	→			89.9	→						
実績値	物品	69.4	68.3	71.0	74.3	71.2	71.9	69.7	68.7	67.1	63.2	64.9	60.8
	工事	90.8	91.7	94.1	94.8	89.5	93.4	94.6	94.9	92.1	94.2	88.9	94.1
	役務	73.2	68.2	69.2	67.9	66.9	67.8	63.3	66.1	70.2	69.9	71.7	80.8
	合計	87.6	87.6	89.6	90.6	86.0	89.1	89.3	89.4	87.4	89.3	85.3	89.4